

# 令和4年 千葉市議会第4回定例会



## 元気発信！花見川！

# だんぎ和彦

## 市議会レポート

【主な役職】 立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長／保険消防委員会委員／大都市制度・基本計画調査特別委員会／花見川区保護司  
花見川中学校区青少年育成委員会顧問／花見川こまやまき自治会長／花見川中学校評議員／花見川小学校評議員／花見川小学校評議員

かず ひこ

令和4年を締めくくる第4回定例会は、11月29日(火)開会いたしました。

開会日は13時より、議場において諸般の報告の後、会期決定の件、議案第139号から第170号及び発議第11号上程(提案理由説明)、請願第6号から第10号までの委員会付託が行われ散会となり、各会派に分かれての議案研究となりました。私どもの会派では、翌30日(水)も議案研究を行いました。

12月2日(金)には3名による議案質疑が行われ、終了後、議案は各所管の常任委員会付託となりました。その後、12月5日(月)には、5常任委員会による案件審査が行われました。

12月7日(水)・8日(木)には、交渉会派である5党派(自由民主党千葉市議会議員団、未来立憲民主、公明党千葉市議会議員団、千葉市議会自由民主党・無所属の会、日本共産党千葉市議会議員団)による代表質問が行われ、12月9日(金)からは一般質問が始まり、15日(木)まで26名が登壇いたしました。(通告は27名であったが、コロナ感染のため1名通告取り下げ)

最終日となる12月16日(金)には、議案第139号から第170号、発議第11号、請願第6号から第10号についての各委員長報告(総務、保健消防、環境経済、教育未来、都市建設)・討論・採決が行われました。その後、人事案件及び追加補正議案の上程・提案理由説明の後、休憩中の全員協議会での議案研究、再開後は委員会付託省略で討論・採決が行われました。次に発議審議(発議第12号・第13号)の上程・提案理由説明後、委員会付託省略で採決、続く発議審議(意見書)も同じく上程・提案理由説明後、委員会付託省略で討論・採決されました。最後に請願第11号が都市建設委員会に付託の上、閉会中の継続審査となり、神谷市長からの発言があり閉会となりました。

## 一般質問について

今定例会の市政に関する一般質問では、通告項目として「1. 産後ケアについて」「2. 子どもを守る取組について」「3. 市民参加による公園管理について」を取り上げました。

特に、産前産後の伴走型ケアや、子どもの安心・安全を守る取組につきましましては、追加補正予算議案でも取り上げられており、市民の皆様にとって身近であり大きな課題と思われり上げました。

### 1. 産後ケアについて

**質問** ここ数年のコロナ禍の影響により、出産した女性の4人にひとりが出産後うつになっているとのデータもあり、国の提唱する妊娠から子育てまでの伴走型支援の中でも産後ケアは重要である。また、身近に産後のサポート施設があることは、少子化対策にもつながるのではと考える。そこで、本市の産後ケア事業の現況と課題、課題解決に向けたお考えと今後の産後ケアについて伺う。

**答弁** 利用者から、「育児に対する不安や自身の体調の不安が軽減し、利用して良かった。」等の声がある反面、利用期間の

## 今定例会の議案について

今定例会の議案は、当初議案として補正予算議案7件、条例議案9件、一般議案16件が上程され、議員提出の発議が1件上程、請願が5件提出されました。主なものとしては、電気料金やガス料金の上昇により、動物公園事業、病院事業、水道・下水道事業等の、燃料代等が予算不足となるための補正や、市有施設の指定管理者の指定等がありました。当初議案は第139号から第170号まですべて可決、発議は否決、請願はすべて不採択となりました。

議会最終日に上程された追加議案第171号は千葉市監査委員の選任、第172号は人権擁護委員の推薦に係る人事案件で、採決の結果ともに同意、第173号の追加補正は、国の経済対策の決定に伴い、妊娠時から出産・子育てまでの伴走型支援の充実に係る経費と、送迎用バスへの安全装置の導入支援等の、こどもの安心・安全対策に係る経費を追加したもので、採決の結果可決となりました。

その後、発議審議が行われ、発議第12号「千葉市議会の個人情報保護に関する条例の制定について」及び、発議第13号「千葉市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」は採決の結果可決、発議第14号「農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書について」及び、発議第15号「女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書について」も、採決の結果可決となりました。

また、請願第11号については、都市建設委員会に付託の上、閉会中の継続審査とすることになりました。

延長や利用回数増加を求める声もある等の課題もある。利用期間の延長等、課題解決に向け速やかに検討を進める。

**要望** 本市の産後ケアは県内でも高いレベルにあると聞くが、さらに質の良い産後ケアを目指し、伴走型の産後ケアにつなげていただきたい。

### 2. 子どもを守る取組について

**質問** 近年、我が国において、貧困・虐待・孤立など、子どもを取り巻く状況は深刻さを増している。本市の子どもの居場所活動である「子どもの居場所サポーター養成講座」及び「子どものSOS支援員養成講座」について、「CAP研修(子どもへの暴力防止プログラム)」について、「いじめ防止対策」について、それぞれ伺う。

**答弁** 「子どもの居場所サポーター養成講座」及び「子どものSOS支援員養成講座」では、今後子ども居場所活動したり、子どもSOSを見逃さない人材の育成を図り、子どもたちが地域で安全・安心に過ごせる環境づくりに取り組む。

「CAP研修」では、子どもたちが自身を守る力への働きかけを行うとともに、CAP研修に加えて啓発活動等を実施することにより、虐待や暴力力等から守る取り組みをさらに充実させていきたい。

「いじめ防止」については、未然防止・早期発見・早期解消・再発防止の対応が大切であり、事実の確認や保護者との連携、いじめた児童生徒への計画的・組織的な指導等により早期解決を目指すとともに、容易にいじめが解決したと判断しないよう、再発防止策を全教職員の共通理解のもと実行し、見守りを継続していく。

**意見** 今回は、虐待・性暴力・いじめ等から子どもを守る取組について取り上げたが、今

【裏面へ続く】

【表面より続く】

後も「通学路を中心とした交通安全について」「送迎バスの取り残し防止対策について」「不審者への対応について」等、子どもを守る取組について取り上げたい。

**3. 市民参加による公園管理について**  
**質問** 本市の市民参加による公園の清掃活動やパークマネジメント等の現状と課題、今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 本市では、自治会やシニアクラブ等の団体が、清掃や除草などの維持管理作業を行う公園清掃協力団体及び、清掃・草刈りのほか、地域のイベント開催などの管理運営を行うパークマネジメントに取り組む団体があり活動に従事していただいているが、課題としては高齢化の進展や後継者不足による

# 2023年を迎えて

## 今年もよろしくお願ひいたします！

本市は2021年1月に市制施行100周年を迎え、昨年2022年4月には政令市移行30周年を迎えました。本年4月には、本市の基礎となる「千葉市基本計画」がスタートし、各部門の新計画も公表される予定で、新たな時代に向けて歩みを進めます。また、6月には、防災機能を兼ね備えた新庁舎の全面供用開始が予定されておりです。

本市のさらなる発展に向けて、そして次の世代にしっかりとバトンを渡せるよう活動して参ります。

## 新年を迎えて皆様は 何を想われるでしょうか？

活動の休止などが一部の団体で生じており、新たな担い手の参画が進んでいない点も課題である。今後は、多様な主体の参画を促進するため現行制度の拡充検討や、行政と連携し、公園における地域活動をコーディネートする中間支援組織の調査・研究に取り組む。

**要望** パークマネジメント普及拡大とともに、個々の技術・能力・希望に応じた公園管理の多様な関わり方への対応については、早急に実施いただけるよう強く要望する。

この模様はインターネットにおいて、「千葉市議会トップページ」↓「議会中継」↓「千葉市議会映像配信」↓「録画放映」↓「会議名から選ぶ」↓「令和4年第4回定例会」↓「12月12日(月)本会議一般質問」でご覧いただけます。

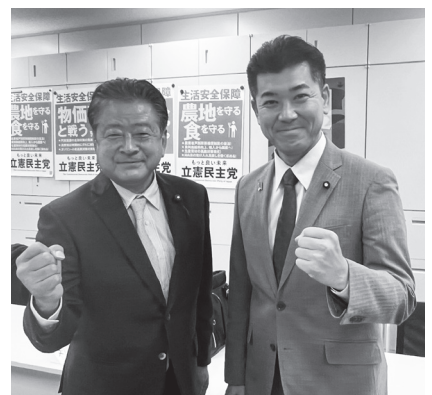
# だんぎ和彦活動中!!

◎指定都市行財政問題懇談会(党派別要望)

令和4年11月11日(金)15時より、衆議院第二議員会館・地下2階・立憲民主党会議室において、「指定都市行財政問題懇談会(立憲民主党)」が開催されました。

この懇談会は、大都市特有の税財政問題について、党派別に各指定都市の代表者が出席し、国会議員の皆様へ要望書を提出するとともに、税財政問題を中心に懇談会を行うもので、今年度は私が出席させていただきましたこととなりました。

また、今年度は千葉市が担当市となっており、議事の進行を仰せつかることも、議事に入



立憲民主党・泉健太代表と



政令指定都市代表挨拶



岡田幹事長と・要望書手交

る前に岡田幹事長との要望書の手交を行わせていただきました。議事に入り、私より指定都市代表挨拶をさせていただきます。国会議員代表として岡田幹事長より挨拶をいただきました。続いて、具体的な要望内容の説明、各指定都市代表から自己紹介及び税財政に関する問題を中心に発言いただきました。

最後に、国会議員の皆様からのご質問・ご助言・ご意見等をいただき閉会となりましたが、指定都市共通の税財政問題について、国会議員の皆様とともに考える大変良い機会となりました。

◎花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化と花見川の利活用

恒例となりました「花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化」に係るイベントとして、12月10日(土)UR都市機構主催による「花見川団地共用部等を活用した賑わい・交流事業の実証実験」が開催され、同時に12月10日(土)・11日(日)の両日、千葉市主催による「花見川公園デッキキャンプ(花見川カヤック付き)体験イベント」も開催されました。



京成バス体験乗車



花見川の水面から拾い上げたゴミ

これまでも議会等において、「花見川団地の再生」や「花見川・河川空間の利活用」を提案して参りましたが、子どもの頃から住み続けるこの地域に目が向けられたことは素晴らしいことと思います。

今後、故郷・花見川の活性化とともに、花見川区に暮らす皆様「住んで良かった!」と思っただけですよう力を尽くして参ります。

ご意見、お問い合わせは、こちらまでお寄せください。

TEL:043-258-0958 FAX:043-286-9312 E-mail:dangi.s@coda.ocn.ne.jp